

10月26日(金) ワークショップ

全体で集合

9:30~

個別セッション

10:00~

EAワークショップ

韓国側から日本と韓国の支援活動の違い・韓国の支援内容と最近の動向・当事者の運動についての見解などが述べられた。

個別セッション(上記セッションを一時中断)

11:00- 12:00

上映セッション(キム・ドン・ウォン監督を囲んで)

キム・ドン・ウォン監督が製作した映画『サンゲドンオリンピック』を見た後、サンゲドンにおける撤去反対運動からコミュニティー

形成、その失敗に至るまでの話に加え、ヘンダンドンにおけるコミュニティー形成の成功について監督が話をした。その後、出席者と監督との間で、活発なディスカッションがなされた。たとえば、失敗例と成功例の違いについての質問には、他地域での失敗に学んだことや、運動経験豊富なリーダーの存在があったことが、また、怒りの声をまとめて短期的に活動するのは簡単だが、そのあとの活動を継続するにはどうすればよいか、という遠藤さんからの質問に対しては、経済的な関係ではなく、人間関係が重要だといふ認識が必要だ、といふ答えがかえってきた。

個別セッション

13:30- 18:00

EAワークショップ(午前から続く)

日本側から支援の湯浅さんが、当事者中心の運動の意義とそのきっかけについて述べた。休憩のあと2グループに分かれ

て国際交流と当事者運動について必要なものを紙に書き出し(ブレインストーミング)、アイデアを模造紙にまとめて発表した。



グループセッションの分かち合い

19:30- 21:30

全体セッションで午後の内容を発表。EAセッション側からは、国際交流と当事者運動に必要なものについて、模造紙にまとめたものを発表。歌あり踊りあり和やかな雰囲気で行われた。



30周年記念儀式と懇親会

21:30- 22:30

住民運動の中で亡くなった人々に思いを込めながら口ウソクを手に合唱した。

10月27日(土) ワークショップ

全体セッション

9:30- 11:00

グループセッションの総合

COのビジョンの採択

記念式典閉会

ワークショップ閉会

30周年記念青少年文化祭典(午後)

自活後見機関の青少年育成活動の一部である勉強部屋(学童保育のようなもの)で日ごろ練習している歌やダンスなどが発表された。



10月28日(日) 現場訪問

午前中は自由時間。昼食後、午後からコミュニティが比較的
成功しているヘンダンドンを訪れた。まず自活後見機関ヘンダ
ンドン支部を訪問。スライドを見ながら質疑応答を行った。その後、
仮設住宅跡の見学、そして信用共同組合を訪問し、質疑応答
を行った。

